「あいち社会資本整備方針2025」(案)に対する意見の概要と県の考え方

		県の考え方
第2章 1. あいちを高める (1)陸・海・空一体の 国際競争力の強化	・中部国際空港 海底連絡トンネルの建設の検討等 二本目滑走路と共に、強風等の天候に左右されない、車と鉄道が通行できる中部国際空港への海底トンネルの検討。 さらに二本目滑走路と共に、空港島を巨大防潮堤等で囲む大津波対策の検討。	本方針では、第2章「1. あいちを高める」「(1)陸・海・空一体の国際競争力の強化」の施策として、空港・港湾へのアクセス道路の強化や中部国際空港の二本目滑走路の整備をはじめとする機能強化の促進に取り組んでいくこととしています。 なお、個々の事業に関するご意見については、関係課室や関係機関と共有し、今後の施策の参考にさせていただきます。
	・知多半島道の半田中央JCTから、衣浦トンネルへ直接繋がる有料道路の検討 この道路が実現した場合、半田地域、西尾・幡豆地域、知多地域、名古屋、中部国際空港のエリア間の短縮に繋がり一体化される。 それにより、産業・観光など多岐に渡った経済効果が期待できる。	本方針では、第2章「1. あいちを高める」「(1)陸・海・空一体の国際競争力の強化」の施策の1つとして、空港・港湾へのアクセス道路の強化に取り組んでいくこととしています。 なお、個々の事業に関するご意見については、関係課室と共有し、今後の施策の参考にさせていただきます。
	・ポートアイランドの活用 ポートアイランドを自動車輸出基地の拠点にする。	本方針では、第2章「1. あいちを高める」「(1)陸・海・空一体の国際競争力の強化」の施策の1つとして、港湾の整備推進に取り組み、名古屋港のふ頭用地や岸壁の整備など港湾機能の強化に取り組んでいくこととしています。 なお、個々の事業に関するご意見については、関係課室と共有し、今後の施策の参考にさせていただきます。
第2章 1. あいちを高める (2)地域の活性化	・豊田市上郷町高畑の農地を宅地化してください。	本方針では、第2章「1. あいちを高める」「(2)地域の活性化」の施策の1つとして、活力ある産業・住宅用地の確保に取り組んでいくこととしています。 なお、ご意見については、関係課室と共有し、今後の施策の参考にさせていただきます。
	・熱田総合駅と鉄道の高架化(又は掘り割り等)の構想・検討 熱田神宮という日本にとっても愛知県にとっても誇る遺産がある一方、周辺は鉄道により街が分断され ている。熱田神宮は愛知県の観光資源の要の一つであり、この先も何十年何百年とずっと日本全国か ら参拝者が集まる場所であり続ける。 そのため今後、長期的なスパンで鉄道高架化(又は掘り割り等)とJR熱田駅と名鉄神宮前駅の一体化 を図る。それにより鉄道の利便性が高くなり、観光振興にも繋がる。 さらに、名古屋にとって三河地域等の玄関口となり、さらに街自体は東西に人の往来が活発になる。 住民にも住みやすく、古来より続くまちを今後活力あるまちの発展に繋げられる。	
	・衣浦トンネル無料化 無料化にすることでビジネス用途、観光などの経済効果が高まり、周辺地域の渋滞も緩和され愛知県 の経済活性化に繋がる。	本方針では、第2章「1. あいちを高める」「(2)地域の活性化」の施策の1つとして、有料道路コンセッションの取組を継続し、民間事業者の創意工夫による低廉で良質な利用者サービスの提供等に取り組んでいくこととしています。 なお、個々の事業に関するご意見については、関係課室と共有し、今後の施策の参考にさせていただきます。
	豊橋市南栄周辺の渋滞対策として、豊橋鉄道渥美線の高架化を推進してください。	本方針では、第2章「1. あいちを高める」「(2)地域の活性化」の施策の1つとして、鉄道高架事業の推進に取り組んでいくこととしてます。 なお、個々の事業に関するご意見については、関係課室と共有し、今後の施策の参考にさせていただきます。
第2章 2. あいちを守る (1)地震・津波対策	東日本大震災から10年経ちますが静岡県では巨大防潮堤が完成しましたが、愛知県では整備が進んでいないので、津波対策防潮堤整備の記載をしてください。	本方針では、第2章「2. あいちを守る」「(1)地震・津波対策」の施策として、河川・海岸施設の耐震化、水門等の耐震化や自動閉鎖化に取り組んでいくこととしています。 また、津波が堤防を越えた場合にも堤防等が流失しにくくするため、粘り強い構造への強化等に取り組んでいくこととしています。
	・津波・防潮堤・水門の耐震強化 特に津波が来た際に津波をある程度防げるような防御策の強化。 それによる減災の必要性。特に地震の揺れで沈下し防潮堤が沈下しないかなどの対策。 伊勢湾奥エリアは津波到達時間が遅いものの人口密集地域であり、想定外の被害を引き起こさないためにも水門の耐震化、自動閉鎖化。 庄内川、天白川など、津波が川を遡上した際の対策の検討。	本方針では、第2章「2. あいちを守る」「(1)地震・津波対策」の施策として、河川・海岸施設の耐震化、水門等の耐震化や自動閉鎖化に取り組んでいくこととしています。 また、津波が堤防を越えた場合にも堤防等が流失しにくくするため、粘り強い構造への強化等に取り組んでいくこととしています。 なお、個々の事業に関するご意見については、関係課室と共有し、今後の施策の参考にさせていただきます。
	無電柱化は都市部を中心に進められていますが、郊外・地方でも進めてください。 台風・竜巻による停電対策として、渥美半島での無電柱化を進めてください。	本方針では、第2章「2. あいちを守る」「(1)地震・津波対策」の施策の1つとして、無電柱化の推進に取り組み、安全で円滑な交通の確保、景観形成、観光振興などに資する無電柱化の計画的な推進に取り組んでいくこととしています。
	地域の魅力向上で、景観のため無電柱化及び電柱の片寄せを記載してください。	

該当部分	意見の概要	県の考え方
第2章 2. あいちを守る (2)風水害対策	・越水破堤への対策 越水しても決壊しにくい構造の堤防への検討、改築。	本方針では、第2章「2. あいちを守る」「(2)風水害対策」の施策の1つとして、洪水対策に取り組み、河道整備や堤防の強化等に取り組んでいくこととしています。 また、「2. あいちを守る」「(1)地震・津波対策」の施策としても、津波が堤防を越えた場合にも堤防等が流失しにくくするため、粘り強い構造への強化等に取り組んでいくこととしています。
第2章 2. あいちを守る (3)インフラ老朽化対策	インフラ老朽化対策として、設置基準に満たない既存の信号交差点の廃止または車両感応式信号への転換、夜間点滅式への変更を進めてください。	ご意見については、関係局と共有させていただきます。
第2章 2. あいちを守る (4)交通事故対策	愛知県ではナショナルサイクルルートの指定を推進しているので記載をしてください。最近渥美半島で外国人や自転車愛好家が増えましたので、事故の危険性が増しているので国道42号線の幅員の狭い箇所の拡幅や視認性の悪い線形箇所の道路改良を進めてください。	本方針では、第2章「2. あいちを守る」「(4)交通事故対策」の施策として、幹線道路における交通事故対策の推進、歩行者・自転車優先の道づくりの推進に取り組み、事故危険箇所の交通事故対策や「愛知県自転車活用推進計画」(2020年)に基づく自転車通行帯の整備等に取り組んでいくこととしています。 なお、個々の事業に関するご意見については、関係課室と共有し、今後の施策の参考にさせていただきます。
	交通事故対策・災害時対策としてラウンドアバウトの推進を記載してください。	本方針では、第2章「2. あいちを守る」「(4)交通事故対策」の施策の1つとして、幹線道路における交通事故対策の推進に取り組み、交差点の改良や歩道設置などの抜本的対策にも取り組んでいくこととしています。
第2章 3. あいちが輝く (1)地域の魅力向上	観光アクセス道路整備で、渥美半島の道路ネットワークの強化・渋滞対策のため渥美半島を縦断している主要3路線(豊橋渥美線・国道259号線・国道42号線)を横断接続する城下老津線の整備を記載してください。	本方針では、第2章「3. あいちが輝く」「(1)地域の魅力向上」の施策の1つとして、観光地へのアクセス道路の整備に取り組んでいくこととしています。 なお、個々の事業に関するご意見については、関係課室と共有し、今後の施策の参考にさせていただきます。
第2章 3. あいちが輝く (3)自然環境の保全・創出	・愛知県全体での下水処理施設の高度処理化の推進 名古屋市含む愛知県全域で、将来的に下水処理施設を全て高度処理化へ。 合流式下水道の問題点の抜本的な解決を、名古屋市とも協力して検討。	本県では、これまでも、河川や海域の水質汚濁対策の一環として、下水の高度処理に取り組んできたところです。本方針においても、第2章「3. あいちが輝く」「(3)自然環境の保全・創出」の施策の1つとして、下水道整備による健全な水環境の保全・創出に取り組み、効率的な流域下水道の整備と高度処理化の推進に取り組んでいくこととしています。 また、合流式下水道の問題点に関するご意見については、関係課室や関係機関と共有し、今後の施策の参考にさせていただきます。
	・「海域環境の改善。閉鎖性水域である伊勢湾・三河湾では、水質浄化の対策を進めているものの、依然として貧酸素水塊の生成などが見られる」。 この点について、名古屋市内の堀川、新堀川の汚染の影響も大いにある。 名古屋市としてもヘドロの浚渫は行われているが部分的である。 名古屋市と協力して、堀川、新堀川のヘドロ浚渫をスピード感を持って促進させる。 浚渫後に、その上を新しい砂で覆うような取り組み、さらに、藻類が生えるような実験の取り組み等を行う。それにより伊勢湾奥の水質改善に繋げる。	に取り組み、海域の深掘れ跡の埋め戻しや干潟・浅場造成、覆砂による海域環境の改善に取り組んでいくこととしています。 なお、個々の事業に関するご意見については、関係課室や関係機関と共有し、今後の施策の参考にさせていただきます。
	・天白川河口の多自然川づくり検討 天白川河口を整備して、多自然川づくりや親水エリアを作り、多様な生物が生息でき県民の憩いの場 にする。	本方針では、第2章「3. あいちが輝く」「(3)自然環境の保全・創出」の施策の1つとして、多自然川づくりの推進に取り組んでいくこととしています。 なお、個々の事業に関するご意見については、関係課室と共有し、今後の施策の参考にさせていただきます。
_	・愛知環状鉄道分岐ルートを建設してください。中部国際空港⇔愛知環状鉄道三河上郷駅・愛知環状鉄道の株の上場と売却を。	ご意見については、関係課室と共有し、今後の施策の参考にさせていただきます。
	・愛知環状鉄道三河上郷駅の名称を徳川四天王榊原康政駅に変えてください。	
	・テーマパークをつくってください。 (日本のアニメ、THE99、外国人スーパーモデル、欧米ボディビルダー女優) ・徳川四天王榊原康政の観光利用を。	ご意見については、関係局と共有させていただきます。
	・観光中華街をつくってください。	